

2025. 8 Vol.20

# あきた移植医療協会だより

編集・発行：公益財団法人 あきた移植医療協会  
〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-6

印刷：(株)三戸印刷所  
電話：018-832-9555



## 『為せば成る！』

～ 意識の変化から行動変容へ ～

公益財団法人 あきた移植医療協会  
理事長 羽渕 友則

昨年度は、県内で24年ぶりとなる脳死下臓器提供をはじめ3件の臓器提供があり、県内を含め全国で11名の患者の命が救われました。臓器提供いただきました患者様の尊いご遺志に、心から感謝を申し上げますと共に、ご冥福をお祈りいたします。また、大きな悲しみの中で、ご決断をいただきましたご家族の皆様にも心から敬意を表します。

さて、移植医療の普及には、二つの観点からの取り組みが必要であります。一つは、県民目線での普及啓発であり、もう一つは医療サイドへの啓発や支援であります。昨年度の臓器提供は、医療サイドにおいても大きな起点となりました。これまで臓器提供は他県事と捉えがちでしたが、昨年度の事例を目の当たりにし、身近でも起こりうる事であると認識されるようになりました。また、事例に基づく研修会を開催したことで、各プロセスの内容や対応が明確に分かり、臓器提供に対する疑問や不安の解消に加え、関係者の意識も高まってきたように感じています。

さらに、今年度より国の補助事業である「臓器提供施設連携体制構築事業」に採択されたこともこの機運を後押ししています。この事業は、臓器提供経験のある医療機関を拠点施設とし、経験の少ない医療機関が連携施設となって、そのスキルや知識を学ぶと同時に、臓器提供が連携施設で発生した場合には、拠点施設から経験豊富な職員の派遣や指導を行うこと、また拠点

施設で発生した場合は、連携施設職員を受け入れ実地研修を行うなど、臓器提供がスムーズに行える連携体制を構築しようとするものであります。

本県においては、昨年度3件の実績を持つ秋田大学医学部附属病院が拠点施設となり、連携施設には、秋田赤十字病院、県立循環器・脳脊髄センター、中通総合病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院の6つの医療機関が参加しています。

また職員の派遣の他にも、事例に基づく様々なテーマでの合同カンファレンスを3ヵ月に1回開催すること、脳死判定時の重要事項である脳波測定実習やノイズ等の院内環境調査、さらには脳死判定シミュレーションやマニュアルの整備など、より実践的なスキルの蓄積と情報共有を図る内容となっており、県内のレベルアップが期待されるところであります。

当協会としても、当該事業の支援をはじめ、引き続き県民への普及啓発として、工夫を凝らし正しい知識を分かり易く伝えていきたいと思っています。

いずれにしても、県内を含め全国で移植を待つ患者の数は増加傾向で、本県においても同様であります。国ではこのような現状を捉え、連携体制等の環境整備に加え、あっせん機能の強化を図ることとしています。一人でも多くの患者の命が助けられるよう、みなさまのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

## 寄稿

昨年度、6歳未満のお子様より臓器提供があり、そのお母さんから当協会に手記が届きました。お子様のご冥福をお祈りすると共に、ご家族への敬意を表し謹んでここに掲載いたします。

春に娘が遠くへ旅立ってから、初めての誕生日を迎えました。その日、私にできたのは娘へ手紙を書くことでした。



〇〇ちゃんへ  
お誕生日おめでとう。  
お友達といっしょに、リハビリがんばっているかな？  
ママはあなたと離れていて、とってもさびしいです。  
でも、あなたが遠い場所で頑張っていると思うと、  
ママもがんばれるよ！ずっとずっと応援しているからね。  
生まれてきてくれて、本当にありがとう。

ママより



移植医療の天使  
“ハーティ”

「脳死状態です」・・・

そう医師から告げられたとき、私は現実を受け止めきれず、気づけば涙が止まりませんでした。

治療を“続ける”のか“やめる”のか。どちらを選んでも、娘の“死を待つ”ように思えて苦しかったのです。

治療を続ければ、身体が限界を迎えていずれ亡くなる。やめてしまえば、少し早くそのときが来るかもしれない。

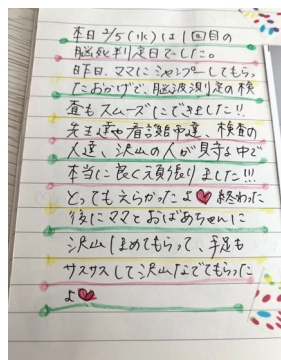
私には、前向きな未来が見えませんでした。

そのとき、ふと“臓器提供”という言葉が頭に浮かびました。

私は医師に尋ねました「この子の心臓を必要とするのは、同じくらいの年齢の子ですか？」

医師はうなずきました。

私ですら、娘を失う悲しみを抱えてこんなに苦しいのに……。もし同じように、小さな命が今まさに失われようとしているのだとしたら……。その子の命が救われて、その家族が同じ悲しみを経験せずに済むなら……



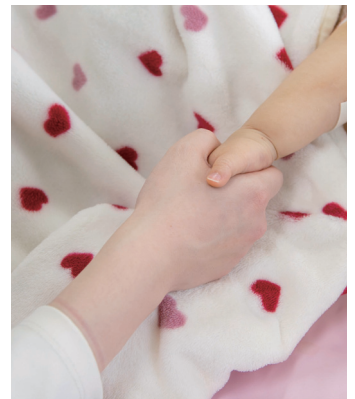
※入院時のICUダイアリー

私と同じような思いをする人が、ひとりでも減ってくれたらいい。

たとえ娘が、娘としての人生を最後まで生きられなかったとしても、誰かを救って、その子が元気に生きてくれるのなら……。

それが、娘の“生きた証”になってくれたら。そう思って、私は臓器提供を承諾しました。

娘は、関わってくれる人のことが大好きで、誰にでもまっすぐな笑顔を向ける子でした。たくさんの人に愛されて育ったあの子なら、誰かの力になれることを、きっと喜んでくれるはず。そう思えたのです。



会いたい気持ちは消えないけれど、娘の笑顔を思いながら手紙を書いたその時間は、娘が心にそっと“光”を届けてくれたような気がして、涙が止まりませんでした。

向こうで出会ったお友達が、今までできなかったことや、娘がこれから経験していくはずだったことを、一緒に叶えていけるよう願っています。

あの娘の中の「生きる力」が、どこかで誰かの明日につながっていると思えることが、今の私を支えてくれています。娘の命が確かに輝いていたことを、これからも私の人生でしっかりと伝えていきます。



# アイバンクからのお知らせ

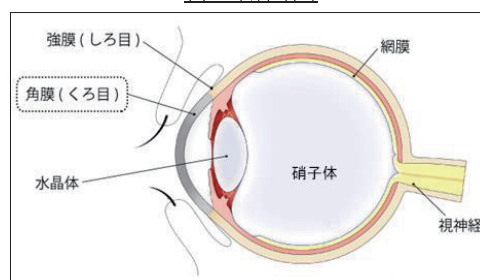
**角膜移植**とは、病気やケガで角膜（くろ目）が濁ってしまい、物が見えなくなったり、視力を失ったりした時に、この濁った角膜を透明な角膜と入替える手術のことです。

対象となる主な病気には、円錐角膜や水疱性角膜症、細菌またはウイルス感染症、外傷などがあります。

**献眼**は、角膜が透明※であれば、近視や遠視、乱視、老眼の方でも年齢に関係なく行えます。県内では、92 歳の方からの献眼実績もあります。

**献眼登録**とは、亡くなられた時に眼球を提供することを、あらかじめ承諾しておくことです。専用のハガキがありますので、希望される方は当協会（018-832-9555）までご連絡ください。折り返し送付します。

目の断面図



※角膜の透明度について

角膜は5つの層で構成されており、その最も内側にあるのが、角膜内皮細胞です。角膜の透明度は、この内皮細胞の密度によりますが、この細胞は一度死んでしまうと再生できない特別な細胞です。

## 臓器提供の現状

右の表は、全国で移植を待っている登録者数（上段、緑色）と、臓器を提供した件数（下段、青色）を表したものです。

登録者数と提供者数は、共に年々増加傾向にはありますが、提供件数は130件前後と少ない状況が続いています。

本県においても登録者数は増加しており、2024 年末で 57 名（腎臓）。それに対し、臓器提供は 2 件でありました。

※表及び説明中での数値は、暦年でのカウントとなります。

| 全国の臓器移植 希望登録者数 |        |        |        |        |        |        |        |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 西暦(年)          | 18     | 19     | 2020   | 21     | 22     | 23     | 2024   |
| 心臓             | 736    | 793    | 898    | 923    | 898    | 865    | 821    |
| 肺              | 353    | 387    | 446    | 477    | 539    | 572    | 637    |
| 肝臓             | 340    | 335    | 349    | 332    | 337    | 376    | 493    |
| 脾臓             | 218    | 204    | 198    | 197    | 181    | 155    | 141    |
| 小腸             | 1      | 5      | 6      | 10     | 10     | 9      | 9      |
| 腎臓             | 12,150 | 12,505 | 13,163 | 13,738 | 14,080 | 14,330 | 14,741 |
| 登録者数合計         | 13,798 | 14,229 | 15,060 | 15,677 | 16,045 | 16,307 | 16,842 |
| 提供件数合計         | 95     | 125    | 77     | 78     | 108    | 149    | 138    |
| 脳死下            | 66     | 97     | 68     | 66     | 93     | 131    | 130    |
| 心停止後           | 29     | 28     | 9      | 12     | 15     | 18     | 8      |
| 西暦(年)          | 18     | 19     | 2020   | 21     | 22     | 23     | 2024   |
| 全国の臓器提供 件数     |        |        |        |        |        |        |        |

## 臓器提供の意思表示について

意思表示は、臓器提供につながる大切な行動です。正しく知って、思いをつなぎましょう！

### 3つの誤解！

正解

- 年齢制限はありません！
- “提供しない”の意思表示もできます！
- 意思表示は、いつでも変更できます！

意思表示は、これらで！



# 事業報告

～ 令和6年度に行った主な事業をご紹介します！～

## I 「臓器移植普及推進月間」 関連事業

10月が当該月間にあたり、県内各地で様々なイベント等を実施しました。

### ○臓器移植推進街頭キャンペーン

10月6日(日)の午前中に、秋田駅東西自由通路(ぼぼろーど)で、道行く人を対象に「意思表示」についての啓発資材を配布しました。



### ○グリーンリボンライトアップ

移植医療のシンボルカラーである”グリーン”に次の施設をライトアップしました。

- ・ABS 秋田放送本社 10/15～20



- ・ポートタワー「セリオン」  
10/1～16



### ○種苗交換会でのブース展示等

11月1～5日、鹿角トレーニングセンター「アルパス」で開催された種苗交換会において、移植医療の周知や献眼登録を推進するため、ブースを設けてポスターの展示や関連グッズの配布に加え、対面によるアンケート調査を行いました。



### ○市民公開講座

～つなぐ！患者のために私ができること～

令和5年7月の秋田市豪雨災害により、廃業を余儀なくされた旧秋田メモリアルクリニックの渡邊克夫院長による、頭痛のあれこれをはじめ、地域医療に対する思いや新たな医院の開業に向けた取り組み等をお話いただきました。

また、“つなぐ”医療である「移植医療」の現状等もご紹介いただきました。

- ・10月14日(スポーツの日)、アルヴェ





## Ⅱ 通年事業

### ○「いのちを考える学習会」

いのちの大切さについての講話を小学校、中学校、高等学校他、計7カ所で行いました。



### ○脳死下臓器提供シミュレーション

脳死下での臓器提供が発生した場合を想定し、秋田赤十字病院と中通総合病院では、医師や看護師、検査技師、事務職、当協会 Co が参加し、脳死判定から臓器摘出・搬送までの流れを体験するとともに、法令等に基づく院内対応や外部との連絡、必要書類の整備などについて確認しました。



### ○院内臓器移植コーディネーター & 医療ソーシャルワーカー合同研修会

近年、全国トップの臓器提供件数を誇る岡山県。その中核である岡山大学病院 高度救命救急センター長の中尾篤典先生にお越しいただき、救命救急と臓器提供等に対する思いについてお話しいただきました。

タイトルは「みんな死ぬ！ だけど簡単に死んでいい人はいない！ 全力の看取りから臓器提供まで！」と題し、笑いあり涙ありの体験談の数々。

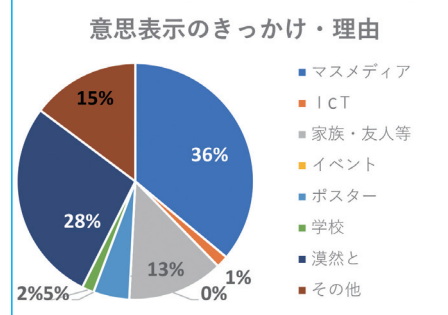
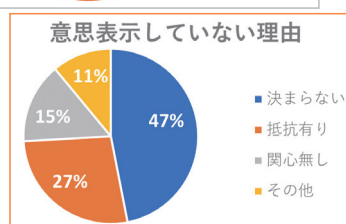
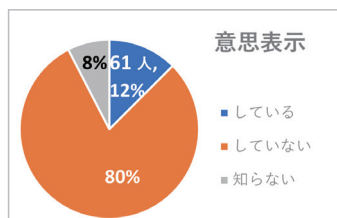
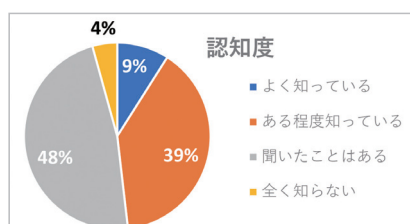
“全力で救命し、全力で看取る！” それには、患者・家族への思いやりと医療従事者(多職種)間の円滑なコミュニケーションが不可欠ではあるが、臓器提供に限ったことではなく“当たり前のこと”とこのことでありました。



※院内臓器移植コーディネーターとは、病院内における移植医療の普及啓発や臓器提供事案がある場合に関係者・機関との連絡調整等を行う方です。病院の推薦に基づき、県が委嘱していますが、職種に縛りはありません。期間は2年、再任も可能です。

## 種苗交換会（鹿角市）でのアンケート結果

有効数581、有効率98%



臓器提供に向けた医療機関の取り組みから

# 「臓器提供事例研修会」～ 秋田大学医学部附属病院 ～

○趣旨

全国同様、本県においても待機者は年々増加傾向にあり、1例でも多くの臓器提供を行うために、令和6年4月と7月の2事例で得た知識やスキルなどを県内の救急医療機関で共有するとともに、組織を超えた連携の強化を図ることを目的とする。

○日時

令和6年11月21日(木)14時～15時30分

○会場

秋田大学医学部附属病院 2階 大会議室

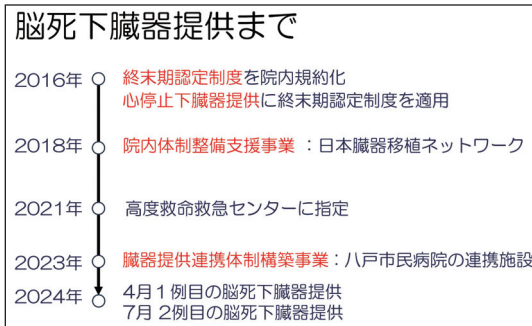
○参加者

9医療機関 29人  
※秋田県保健・疾病対策課、  
あきた移植医療協会の職員も参加



○内容 ～ 4月と7月の事例から ～

- ①「脳死下臓器提供の経験」  
講師：奥山 学  
(高度救命救急センター准教授)



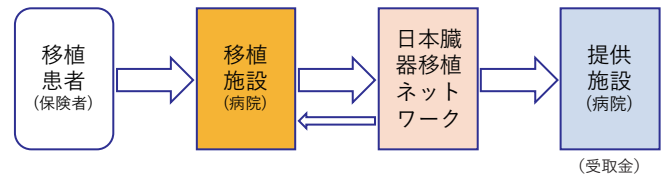
- ②「脳死下臓器提供の家族看護」  
講師：森屋 みゆき  
(集中治療室2 看護師長)

- ③「事務方の対応と受取金」  
講師：山形 知子  
(事務部医事課 課長)

- ④グループ討議・発表



※臓器提供等に関するお金の流れ等



【県内の臓器提供・移植の実績】 (R7年3月末、生体移植は除く)

D：ドナー（臓器提供者）、R：レシピエント（移植を受けた者）

| 区分 / 年度      |    |       | H12～27  | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    | R3    | R4    | R5 | R6    | 計        |
|--------------|----|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----------|
| 臓器<br>(角膜除く) | D  | 県内 脳死 | 1       |       |       |       |       |       |       |       |    | 3     | 4        |
|              |    | 心停止   | 4       | 1     |       |       |       |       |       | 1     |    |       | 6        |
|              | 県外 |       | 2       |       |       |       |       | 1     | 2     | 1     |    |       | 6        |
|              | R  | 県内    | 9       | 2     |       |       |       |       | 2     | 2     |    | 2     | 17       |
|              |    | 県外    | 2       |       |       |       |       | 1     |       | 1     |    | 9     | 13       |
| 眼球<br>(角膜)   | D  | 県内    | 49 (95) | 3 (5) | 2 (4) | 1 (2) | 1 (1) | 2 (4) | 2 (4) | 2 (4) |    | 1 (2) | 63 (121) |
|              |    | 県外    | 14 (15) |       |       |       | 1 (1) |       |       |       |    |       | 15 (16)  |
|              | R  | 県内    | 89      | 4     | 4     | 2     | 1     | 4     | 4     | 3     |    | 2     | 113      |
|              |    | 県外    | 6       | 1     |       |       |       |       |       |       |    |       | 7        |

※角膜は、全て心停止後の提供者数。( )は眼球数。

## 正味財産増減計算書 (R6.4.1～R7.3.31)

(単位: 円)

| 科 目          | 当年度        | 前年度        | 増 減       | 科 目           | 当年度         | 前年度         | 増 減         |
|--------------|------------|------------|-----------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 |            |            |           | ② 管理費         | 3,678,899   | 3,597,468   | 81,431      |
| 1 経常増減の部     |            |            |           | 役員報酬          | 131,000     | 119,000     | 12,000      |
| (1) 経常収益     |            |            |           | 給料手当          | 2,399,021   | 2,380,645   | 18,376      |
| ① 基本財産運用益    | 535,997    | 673,604    | △ 137,607 | 福利厚生費         | 403,246     | 404,005     | △ 759       |
| ② 特定資産運用益    | 4,056      | 29         | 4,027     | 会議費           | 0           | 190         | △ 190       |
| ③ 受取会費       | 1,611,000  | 1,401,000  | 210,000   | 旅費交通費         | 5,000       | 0           | 5,000       |
| ④ 事業収益       | 300,000    | 0          | 300,000   | 通信運搬費         | 102,306     | 99,451      | 2,855       |
| ⑤ 受取補助金等     | 8,940,679  | 7,958,535  | 982,144   | 消耗什器備品費       | 0           | 0           | 0           |
| 県受託金         | 6,949,970  | 6,686,941  | 263,029   | 消耗品費          | 9,155       | 55,358      | △ 46,203    |
| 日本臓器移植ネット    |            |            |           | 印刷製本費         | 17,118      | 10,713      | 6,405       |
| ワーク等         | 1,990,709  | 1,271,594  | 719,115   | 賃借料           | 152,186     | 66,613      | 85,573      |
| ⑥ 受取寄付金      | 371,215    | 1,286,840  | △ 915,625 | 諸謝金           | 110,000     | 110,000     | 0           |
| ⑦ 基本財産取崩振替額  | 0          | 0          | 0         | 支払負担金         | 295,826     | 301,335     | △ 5,509     |
| ⑧ 特定資産取崩振替額  | 6,000,000  | 6,000,000  | 0         | 委託費           | 0           | 0           | 0           |
| ⑨ 特定資産振替額    | 260,142    | 260,142    | 0         | 雑費            | 54,041      | 50,158      | 3,883       |
| ⑩ 雑収益        | 45         | 0          | 45        | 経常費用計         | 18,976,412  | 17,285,630  | 1,690,782   |
| 経常収益計        | 18,023,134 | 17,580,150 | 442,984   | 当期経常増減額       | △ 953,278   | 294,520     | △ 1,247,798 |
| (2) 経常費用     |            |            |           | 2 経常外増減の部     |             |             |             |
| ① 事業費        | 15,297,513 | 13,688,162 | 1,609,351 | (1) 経常外収益     |             |             |             |
| 給料手当         | 9,327,567  | 8,819,760  | 507,807   | 特定資産取崩振替額     | 0           | 0           | 0           |
| 退職給付費用       | 184,080    | 168,000    | 16,080    | (2) 経常外費用     |             |             |             |
| 福利厚生費        | 1,491,274  | 1,431,204  | 60,070    | 経常外費用計        | 0           | 0           | 0           |
| 会議費          | 10,450     | 7,073      | 3,377     | 当期経常外増減額      | 0           | 0           | 0           |
| 旅費交通費        | 689,004    | 504,497    | 184,507   | 当期一般正味財産増減額   | △ 953,278   | 294,520     | △ 1,247,798 |
| 通信運搬費        | 484,446    | 450,129    | 34,317    | 一般正味財産期首残高    | 3,836,846   | 3,542,326   | 294,520     |
| 減価償却費        | 260,142    | 260,142    | 0         | 一般正味財産期首残高修正額 | 0           | 0           | 0           |
| 消耗什器備品費      | 0          | 0          | 0         | 一般正味財産期末残高    | 2,883,568   | 3,836,846   | △ 953,278   |
| 消耗品費         | 364,148    | 388,820    | △ 24,672  | II 指定正味財産増減の部 |             |             |             |
| 印刷製本費        | 449,181    | 533,027    | △ 83,846  | 受取寄付金         | 363,726     | 480,437     | △ 116,711   |
| 賃借料          | 677,450    | 288,129    | 389,321   | 固定資産除却損       | 0           | 0           | 0           |
| 諸謝金          | 200,000    | 130,000    | 70,000    | 一般正味財産への振替額   | 6,289,742   | 6,292,742   | △ 3,000     |
| 支払負担金        | 125,617    | 135,927    | △ 10,310  | 当期指定正味財産増減額   | △ 5,926,016 | △ 5,812,305 | △ 113,711   |
| 租税公課         | 10,200     | 10,200     | 0         | 指定正味財産期首残高    | 153,620,431 | 159,432,736 | △ 5,812,305 |
| 保健料          | 43,750     | 43,750     | 0         | 指定正味財産期首残高修正額 | 0           | 0           | 0           |
| 支払助成金        | 300,000    | 120,000    | 180,000   | 指定正味財産期末残高    | 147,694,415 | 153,620,431 | △ 5,926,016 |
| 委託費          | 654,959    | 382,324    | 272,635   | III 正味財産期末残高  | 150,577,983 | 157,457,277 | △ 6,879,294 |
| 雑費           | 25,245     | 15,180     | 10,065    |               |             |             |             |

## 貸借対照表 (R7.3.31現在) (単位: 円)

| 科 目           | 当 年 度         | 前 年 度         | 増 減          |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資 産 の 部     |               |               |              |
| 1 流動資産        |               |               |              |
| 現金預金          | 2,926,953     | 4,140,074     | △ 1,213,121  |
| 定期預金          | 235,707       | 167,912       | 67,795       |
| 未収金           | 0             | 0             | 0            |
| 前払金           | 0             | 13,610        | △ 13,610     |
| 流動資産合計        | 3,162,660     | 4,321,596     | △ 1,158,936  |
| 2 固定資産        |               |               |              |
| (1) 基本財産      |               |               |              |
| 定期預金          | 38,204,847    | 38,272,642    | △ 67,795     |
| 投資有価証券        | 99,585,153    | 99,517,358    | 67,795       |
| 基本財産合計        | 137,790,000   | 137,790,000   | 0            |
| (2) 特定資産      |               |               |              |
| 医療機器購入積立資産    | 4,783,820     | 4,449,694     | 334,126      |
| 移植医療推進積立資産    | 4,000,000     | 10,000,000    | △ 6,000,000  |
| 特定資産合計        | 8,783,820     | 14,449,694    | △ 5,665,874  |
| (3) その他の固定資産  |               |               |              |
| 医療器械          | 735,935       | 909,677       | △ 173,742    |
| 什器備品          | 92,610        | 115,290       | △ 22,680     |
| その他固定資産合計     | 828,545       | 1,024,967     | △ 196,422    |
| (4) 無形固定資産    |               |               |              |
| ソフトウェア        | 292,050       | 355,770       | △ 63,720     |
| 無形固定資産合計      | 292,050       | 355,770       | △ 63,720     |
| 固定資産合計        | 147,694,415   | 153,620,431   | △ 5,926,016  |
| 資産合計          | 150,857,075   | 157,942,027   | △ 7,084,952  |
| II 負 債 の 部    |               |               |              |
| 1 流動負債        |               |               |              |
| 未払金           | 115,084       | 221,199       | △ 106,115    |
| 預り金           | 164,008       | 263,551       | △ 99,543     |
| 流動負債合計        | 279,092       | 484,750       | △ 205,658    |
| 2 固定負債        |               |               |              |
| 固定負債合計        | 0             | 0             | 0            |
| 負債合計          | 279,092       | 484,750       | △ 205,658    |
| III 正味財産の部    |               |               |              |
| 1 指定正味財産      |               |               |              |
| 指定正味財産合計      | 147,694,415   | 153,620,431   | △ 5,926,016  |
| (うち基本財産への充当額) | (137,790,000) | (137,790,000) | (0)          |
| (うち特定資産への充当額) | (8,783,820)   | (14,449,694)  | (△5,665,874) |
| 2 一般正味財産      | 2,883,568     | 3,836,846     | △ 953,278    |
| (うち基本財産への充当額) | (0)           | (0)           | (0)          |
| (うち特定資産への充当額) | (0)           | (0)           | (0)          |
| 正味財産合計        | 150,577,983   | 157,457,277   | △ 6,879,294  |
| 負債及び正味財産合計    | 150,857,075   | 157,942,027   | △ 7,084,952  |

## 「臓器移植 Co のつぶやき」①

みなさん、こんにちは！  
私は、秋田県臓器移植コーディネーターの佐々木聡と申します。今号よりこのコラムをスタートいたします。臓器移植 Co としての視点から、体験したことや感じたことなどを分かり易く紹介していきたいと思っています。



第1回目は、「子供の臓器移植」についてお話します。18歳未満の脳死下臓器提供は、近年増加傾向にはありますが、年間10件前後であり、全体の1割にも達していません。そのため、海外渡航による心臓移植のニュースを耳にすることがあるかと思います。

しかし、臓器提供・移植は原則として自国内で行うことが国際的に認識※されていることに加え、渡航費等が高額になることで、かなり高いハードルとされています。

そんな中での、県内6歳未満の臓器提供は、たいへん意義深く崇高なことであったと感じています。お子様の性格や行動を大切に、また他人(ひと)を思いやる気持ちからのご判断、改めて敬意を表する次第であります。

※2008年「イスタンブール宣言」



## 令和6年度 賛助会員

五十音順、敬称略

### 法人・団体

- 10口：(株)秋田医科器械店、あきた腎・膠原病・リウマチクリニック、(医)桐山会 山田眼科医院、ユナイテッド計画(株)
- 6口：秋田大学医学部泌尿器科学講座、(医) 湊秋会 おのば腎泌尿器科クリニック、清水泌尿器科内科医院、(医)一泉会 鈴木一郎医院
- 4口：小松クリニック、(医)青嵐会 本荘第一病院
- 3口：秋田テレビ(株)
- 2口：(株)アイネックス、(医)アイリスさとう眼科、秋田エプソン(株)、(公社)秋田県看護協会、秋田県民共済、秋田赤十字病院、(医)秋田泌尿器科クリニック、秋田港ライオンズクラブ、(医)祥仁会 秋田南クリニック、阿部眼科、大曲厚生医療センター、男鹿みなと市民病院、おのば眼科、小山田医院、(株)神成堂、北秋田市民病院、(医)和光会 共立クリニック、(医)藤医会 工藤泌尿器科医院、(医)黒澤医院、国際ソロプチミスト秋田、(医)駿翠会 こはま泌尿器科クリニック、さくら内科・糖尿病クリニック、(株)サノ・ホールディングス、(株)沢木組、シー・アンド・シー(株)、下田内科消化器科医院、(地独)市立秋田総合病院、市立角館総合病院、(医)せいとく会 菅医院、(医)高津内科医院、立木医院、(有)玉屋眼鏡店、土崎駅前内科、(社医)明和会 中通総合病院、能代山本医師会病院、(医)あけぼの会 花園病院、(医)早川眼科伊奈皮ふ科医院、平鹿総合病院、(医)敬徳会 藤原記念病院、梵天内科クリニック、(医)尚仁会 松田記念泌尿器科クリニック、由利組合総合病院、由利電子部品(株)
- 1口：秋田協同印刷(株)、(公財)秋田県老人クラブ連合会、秋田厚生医療センター、(株)秋田スズキ、秋田ライオンズクラブ、(医)阿部耳鼻咽喉科医院、(医)遠藤クリニック、大曲ライオンズクラブ、雄勝中央病院、男鹿ライオンズクラブ、(有)奥田酒造店、かん眼科、(医)山の丘よつば会 クローバーデンタル、こまち透析クリニック、(医)明翁堂 佐々木医院、(医)佐藤病院、(株)三戸印刷所、(株)新東組、鈴木小児科、なべしま眼科クリニック、能代厚生医療センター、(株)八郎潟印刷、(医)早川眼科医院、(株)村越時計店、(株)柳沢建設、ゆざわ眼科医院、(医)湯沢内科循環器科クリニック、横手愛宕ライオンズクラブ、わかまつ内科クリニック、(医)渡邊医院

他11団体

### 個人

- 10口：石塚 真人、岡崎 佳治、佐藤 良延、鈴木 一郎、塚田 大星
- 5口：佐々木正博、羽瀧 友則
- 4口：阿部真由美
- 3口：井上 高光、今井 正雄、奥山 慎、加藤 哲郎、神田 壮平、齋藤 満、佐藤 滋、立木 裕、松田 泰行、吉田 武子、吉富 健志



## 個人

2口：加藤三恵子、佐藤 徳子、佐藤 力哉、高山孝一郎、鳥海 良寛、沼倉 一幸、藤盛 裕子、藤山 信弘

1口：安杖 一、五十嵐 潔、石井 淳、石黒かほる、石田 俊哉、伊藤 卓雄、大里 祐一、金子 悦子、川口 一、神成 俊行、工藤 勉、熊谷 悦子、齋藤 雅也、嵯峨 泰治、佐藤 泰和、佐藤 正人、佐藤 勝、渋谷 清美、嶋田まき子、菅原 克之、菅原 優子、鈴木 一正、鈴木 丈博、高橋 栄子、高橋 誠、竹谷 和子、中村 成光、奈良 昌子、藤原 綾子、本間 猛、松田 芳教、松淵 秀次、村田 勝敬、最上 智子、吉方清治郎、渡辺 孝雄、渡辺 照子

他20名

## 寄付者ご芳名

五十音順、敬称略



ライオンズクラブ国際協会  
332-F 地区 ※R6.6.30  
地区ガバナー 石垣 勝康  
(334,126円)

秋田県眼科医会  
会長 内山 博之  
(200,000円)

イオンリテール（株）イオン御所野店（29,600円）、（医）飯島透析クリニック（10,000円）、八木橋雅孝（10,000円）、村田 勝敬（7,000円）、進藤真理子（5,000円）、菅原 邦子（5,000円）、田村 正美（5,000円）、三浦 悠希（5,000円）、井関 利道（3,000円）、井上智榮子（3,000円）、生木けさ子（3,000円）、九島 光子（3,000円）、山内 誠子（2,317円）、佐藤 力哉（2,000円）、杉山 陽子（2,000円）、清水 清（1,000円）

他16個人・団体

賛助会員並びに寄付者の皆様には、ご支援いただき誠にありがとうございました。

## 賛助会員への入会、寄付金をお願い

当協会は、県民の健康と福祉の向上をめざし、腎臓や角膜をはじめとする臓器移植の普及啓発にかかる各種事業とアイバンク事業を行っています。

事業の運営は、賛同をいただいた皆様からの会費やご寄付など、ご厚志により支えられています。

皆様からのあたたかいご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

なお、賛助会費や寄付金は、税制優遇の対象となりますので、当協会ホームページでご確認ください。



## 【賛助会員】

年会費（1口）法人（団体）：5,000円  
個人：3,000円

## 【ご寄付】金額は自由です

## 《振込口座》賛助会費、ご寄付の振込先

○ゆうちょ銀行：2500-1-5317

○秋田銀行：県庁支店 普通 436836

※口座名義は、どちらも

「公益財団法人 あきた移植医療協会」

# グリーンリボン サポーター ～私たちも応援しています！～

## 1. 趣旨等

「グリーンリボン サポーター」とは、企業・団体が届出(賛同)し、それぞれの出来る範囲で、移植医療に関する普及啓発活動を行うものです。当協会は、その取り組み内容に合わせた資材等を提供します。

※グリーンリボンは、移植医療のシンボルです。

## 2. 提供資材等 (以下に例示)

ポスター、リーフレット、ミニのぼり、ピンバッジ、ステッカー、募金箱、各種マーク等に加え、15～30分程度の「出前講座(学習会)」などにも対応できます。

※資材は変わる場合があります。



各種マーク (JPEG) 50KB 程度



ミニのぼり  
36×15cm

## 3. サポーター (五十音順、敬称略)

(公財)あきた企業活性化センター、(福)秋田県共同募金会、(株)秋田銀行、(一社)秋田県医師会、(福)秋田県社会福祉事業団、(一社)秋田県障害者スポーツ協会、秋田県腎臓病患者連絡協議会、(一財)秋田県総合公社、(公財)秋田県総合保健事業団、秋田県中小企業団体中央会、(公社)秋田県ふるさと定住機構、(株)秋田県分析化学センター、(一社)秋田県薬剤師会、(地独)秋田県立病院機構、(地独)秋田県立医療療育センター、(地独)秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田商工会議所、秋田千秋久保田ライオンズクラブ、(一社)鹿角建設業協会、かづの厚生病院、(株)クラヤ、軽食喫茶 T&A、湖東3町商工会井川事務所、さとう眼科、全国心臓病の子どもを守る会秋田県支部、東北電力(株)秋田支店、ながぬま内科、日本赤十字社秋田県支部、日本郵便(株)秋田中央郵便局、野村證券(株)秋田支店、(株)北都銀行、道の駅しょうわ、道の駅てんのう、みちのく温泉パスポート、三菱マテリアル(株)東北電力所、明治安田生命保険(相)鹿角営業所、よこて商工会、(株)米村組、ライオンズクラブ国際協会332-F地区他4団体

### 理事長

羽瀧 友則 (秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長、教授)

### 副理事長

岩瀬 剛 (秋田大学大学院医学系研究科眼科学講座 教授)

村越 正道 (秋田県腎臓病患者連絡協議会 会長)

### 理事

浅野 雅彦 (秋田県商工会議所連合会 事務局長)

伊藤 和美 (一社・秋田県銀行協会 常務理事兼事務局長)

内山 博之 (秋田県眼科医会 会長)

齋藤 満 (秋田大学医学部附属病院 血液浄化療法部 准教授)

佐藤 利秋 (本荘舞鶴ライオンズクラブ 理事)

進藤 研一 (秋田テレビ(株) 代表取締役社長)

丸屋 淳 (秋田赤十字病院 副院長)

### 監事

智田 邦英 (公財・秋田県総合保健事業団専務理事  
兼事務局長)

成田 睦子 (公社・秋田県看護協会 常務理事)

### 評議員

稲岡 敬弘 (ライオンズクラブ国際協会332-F 地区 名誉顧問)

太田 厚子 (秋田県眼科医会 監事)

佐藤 栄二 (秋田県腎臓病患者連絡協議会 事務局長)

白川 秀子 (公社・秋田県看護協会 会長)

須田 広悦 (社福・秋田県社会福祉協議会 常務理事)

奈良 美保 (秋田大学医学部附属病院

輸血細胞治療・移植再生医療センター 准教授)

皆川 英伸 (一社・秋田県薬剤師会 理事)

宮内美輝子 (国際ソロプチミスト秋田 トレジャー)

柳澤 俊晴 (由利組合総合病院 副院長)

### 顧問

加藤 哲郎 (一財・脳神経疾患研究所附属総合南東北病院  
附属泌尿器疾患研究所所長)

佐藤 滋 (医・楽山会 理事長、せいてつ記念病院長、  
健康管理センター長)